

出場メンバー

- ①北原 慎也 ②石橋 英明 ③五木田 浩信
- ④吉川 健治 ⑤丸山 寛門 ⑥勝田 卓司
- ⑦萩本 稔 ⑧伊藤 昌良 ⑨井川 寛
- ⑩篠塚 智之 ⑪清水 道章 ⑫奥崎 真琴

〈数字は区間・敬称略〉

快走横芝チーム 準優勝

郡市駅伝 2区間で7人ゴボウ抜き

郡内9市町村の精鋭チームが健脚を競った第15回山武郡市駅伝大会——2月11日、九十九里から大網に至る12区間・32kmのコースで行われました。強風が吹き荒れる悪条件の下で、わが横芝チームは大健闘。中盤の6・7区で一気に7人を抜き去り、堂々2位でゴールインしました。

吉岡勝司監督は、「みんなが頑張ってくれました。全員の力走のたまものです。今回は優勝をめざします」と、来年に向けての意気込みを語っていました。



▶ゴールインする奥崎選手



▶選手・役員の方々

熱弁をふるって講演をする別所氏



別所氏の講演が聴衆を魅了

経営講演会

テレビ・ラジオでおなじみの野球評論家、別所毅彦氏を講師に迎えて、経営講演会（商工会主催）が文化会館で開かれました。テーマは「経営に生かす勝負の心」。豊富な野球体験をもとに、ユーモアを交えて熱弁をふるう別所氏の講演に、100人を超える聴衆は熱心に聞き入っていました。（2/15）

私のひとこと



過ぐる大戦に、国家・社会のため、生命を投げ打ってまで尽くしてきたにもかかわらず、年限や身分の差で、国家や社会から何ら報いられることのない恩給欠格者が、全国には相当おります。

こうした不合理・不公平な法の改正と官民格差の是正を求めて、我々は8年間にわたる歳月を、鉄石の団結をもって幾多の試練を克服しつつ、この運動を進めてきました。

まだある戦後処理

桜井敏雄（於 幾）

いた、恩給欠格者への救済の道が開かれたことは、我々関係者にとって大きな朗報であります。とは言っても、これは目的達成のための突破口が開かれたということにすぎず、要求の実現はまだ先のことです。我々は会員の増加を図り、強力な組織を作り上げて、この活動をさらに推進していかなくてはなりません。

平和で豊かな時代に生まれ育った皆さんには、理解しがたい問題かもしれませんが、青春や家庭、人生といった大切なものを、戦争のために犠牲にされてしまった我々の苦悩や不公平な処遇をご理解いただき、この運動に暖かいご支援を賜りたいと存じます。

この粘り強い努力が政府の重い腰を動かし、戦後処理問題に関する基金の検討費及び実情調査費として一億五千七百万円が、60年度政府予算に計上されました。これによって、戦後処理問題の大きな課題となつて

入されていない方/ぜひ主旨に賛同され、我々と手を携えて要求の貫徹に力を注いでいこうではありませんか。【軍人軍属恩欠者全国連盟横芝支部長】